

『営農アンケート』集計結果の説明

～香宗（中ノ村、土居）地区集計～

1

令和2年12月7日

香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続可能性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、
『**人・農地プラン**』**事業関係の事項**に**利用**させていただきます、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- **目的**：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- **対象**：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- **方法**：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- **使用データ**：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- **件数**：宛先不明等を除いた**実質 5,864件**（総数 7,302件）
- **実施**：令和元年12月～令和2年7月
- **回収終了**：令和2年9月23日
- **回収件数**：**3,329件（56.8%）**
- **面積**：**1520ha（64.4%）**

香南市と東野地区の営農アンケート回収状況

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

5

- 235通送付し**返信数は143通**であり、返信率60.9%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、**地区全体の61.6%**となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

香宗地区の回答状況

- 各集落共に約半数を超える所有者・農業者の方々にご回答をいただきました。
- 回答いただいた方の所有の面積集計も両集落で過半数を超えました。

表3) 集落別返信率 (人数)

No.	集落	対象数	発送不能 宛先不明	実質数	返信数	実質返信率
6-1	中ノ村	142	13	129	83	64.3%
6-2	土居	130	24	106	60	56.6%

表4) 集落別返信率 (面積)

No.	集落	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積率
6-1	中ノ村	491,915	324,969	66.1%
6-2	土居	247,502	130,471	52.7%

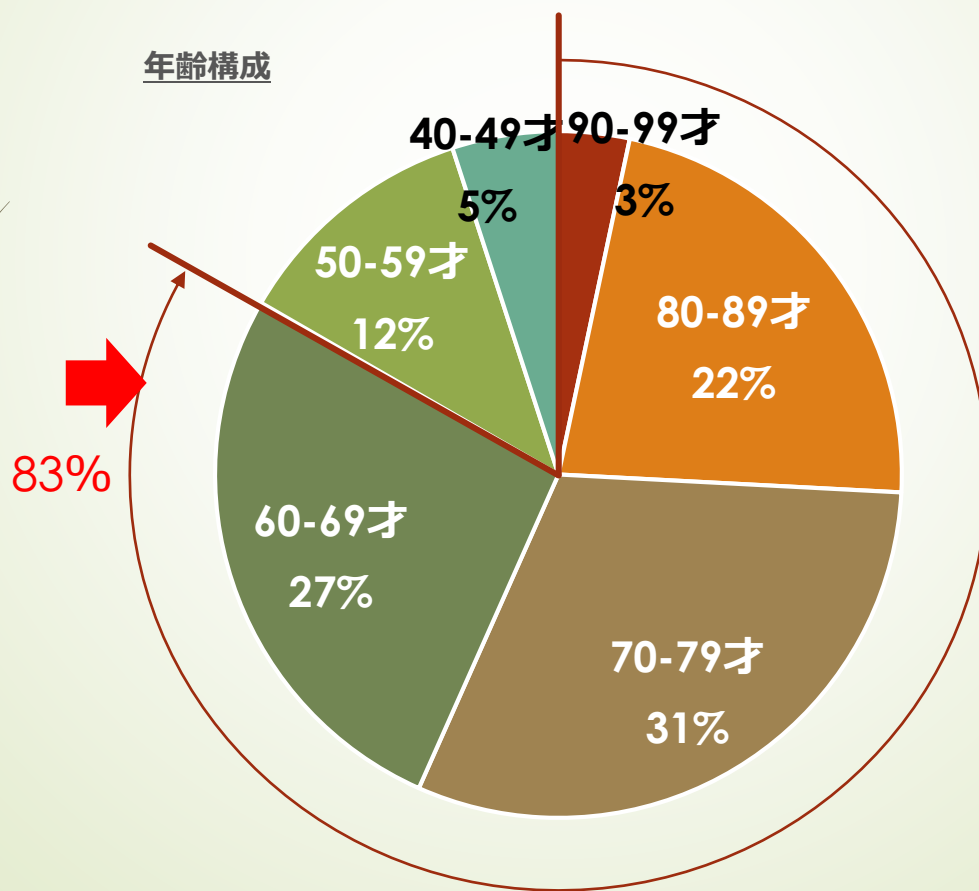
・・・アンケートへご協力いただきましたこと、改めて感謝いたします。

アンケート集計 (1)

7

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の83%は60歳以上の状況である。



設問への回答数：120

アンケート集計 (2)

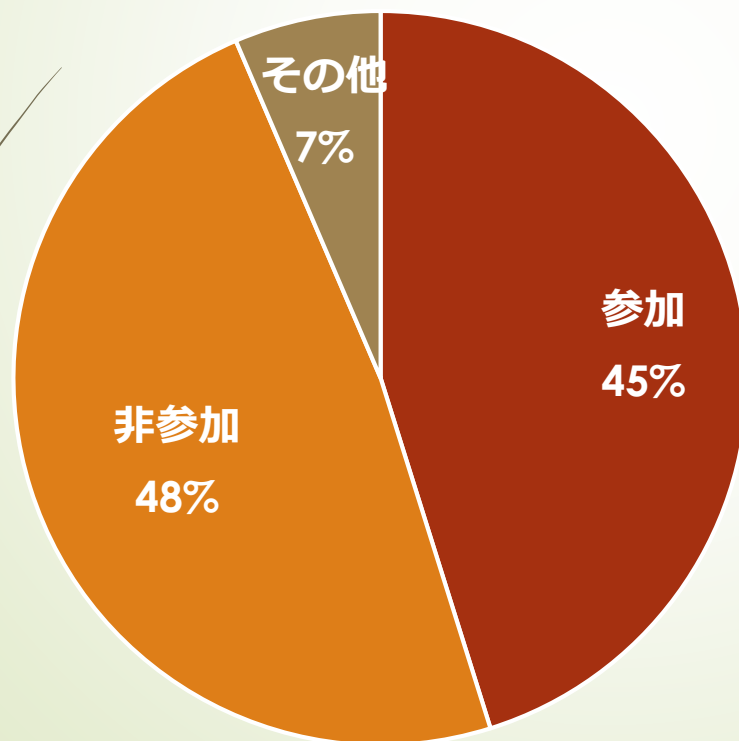
地域会合への参画意向

8

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の45%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区方針の内容は知りたいとの意向を持っている。

会合への参加



コメント：

- ・ 実行可能な方法なら参加。

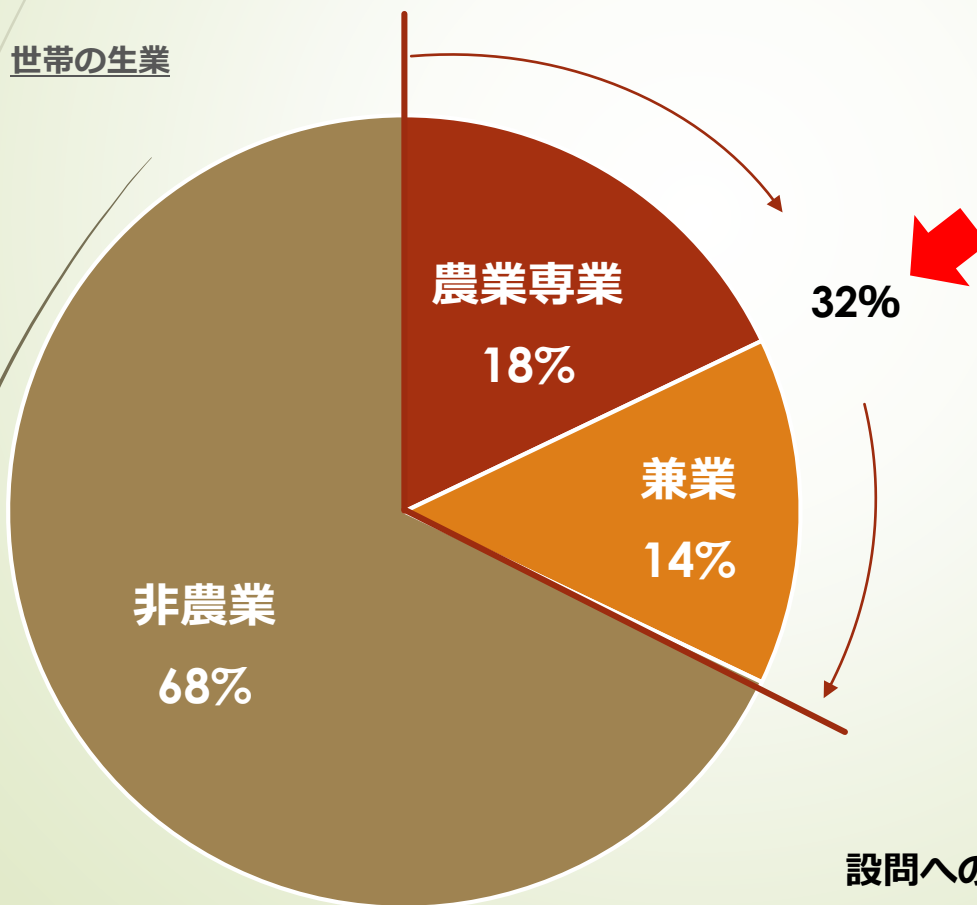
設問への回答者数：47

9

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は32%に止まる。
- 農業を営んでいない人は68%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）

世帯の生業



32%

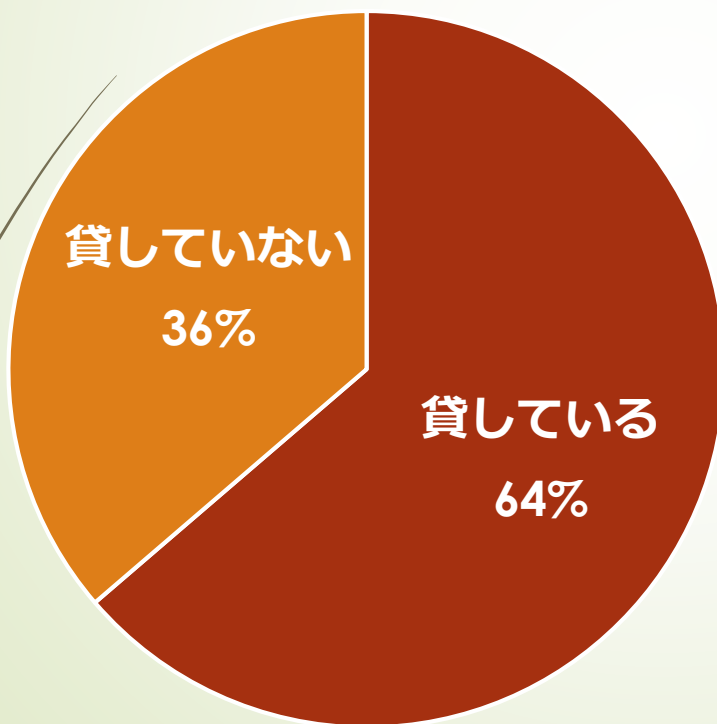
コメント：
・対象は宅地

設問への回答数：134

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の64%は農地を貸している。

農地の貸し現状



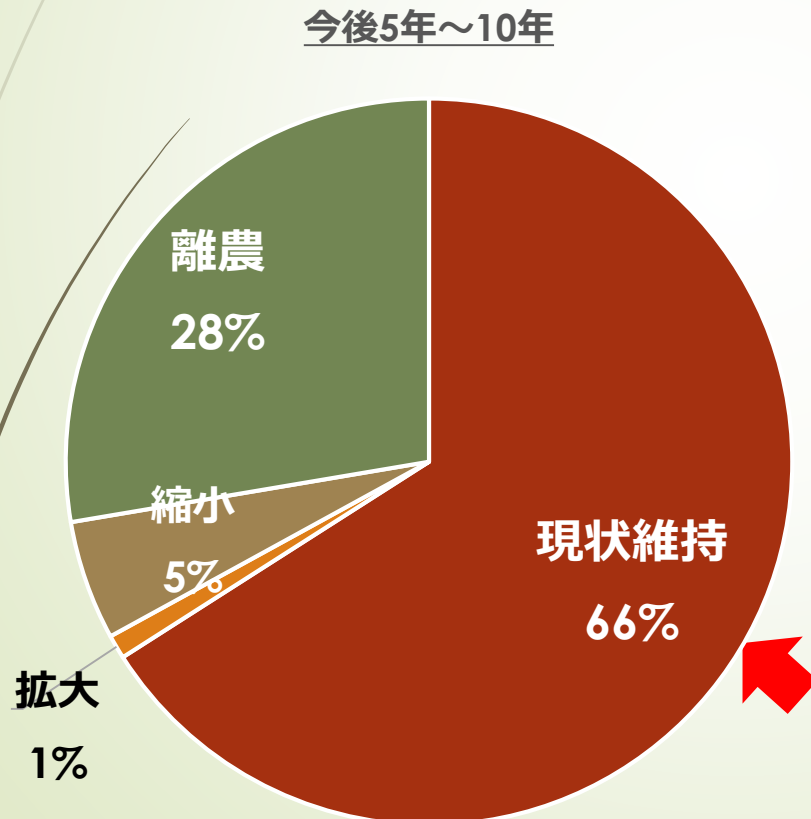
コメント：

- ・現在つくり手を見つけなければならない。
- ・畑を所有するが、借り手買い手ともに無しで管理に困っている。
- ・現状使ってもらっているが、先はわからない。
- ・私が生まれる前から、隣接する人が使用しています。



Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持する意向が2/3 (66%) あった。
- 一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて33%あった。



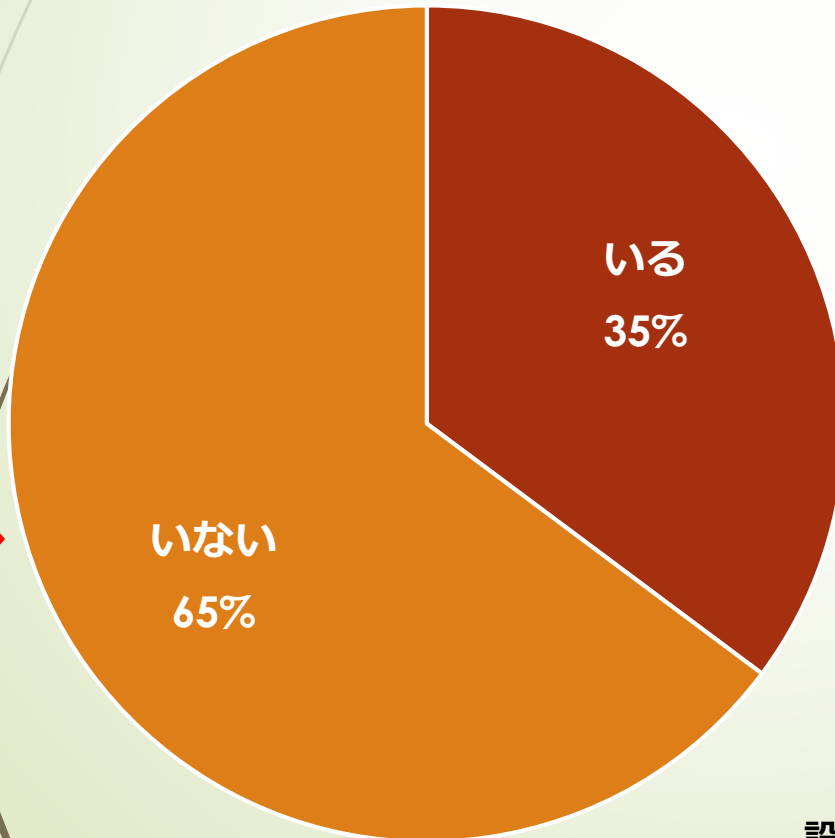
コメント：

- ・農業経営を辞めることを考えているが、農地の買い手が居ない。
- ・高知市在住。相続放棄。
- ・すぐにでも農業を辞めることを考えている。
- ・当分は現状維持。辞める時期は不明。家族が農地を管理するかどうか今はわからない。現在貸しているので、現状の維持をする。
- ・南国市在住。現状を10年位維持予定。

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が65%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかは不明、農地を借りて耕作する側も跡継ぎ不在という状況も伺える。

農業後継者



コメント：

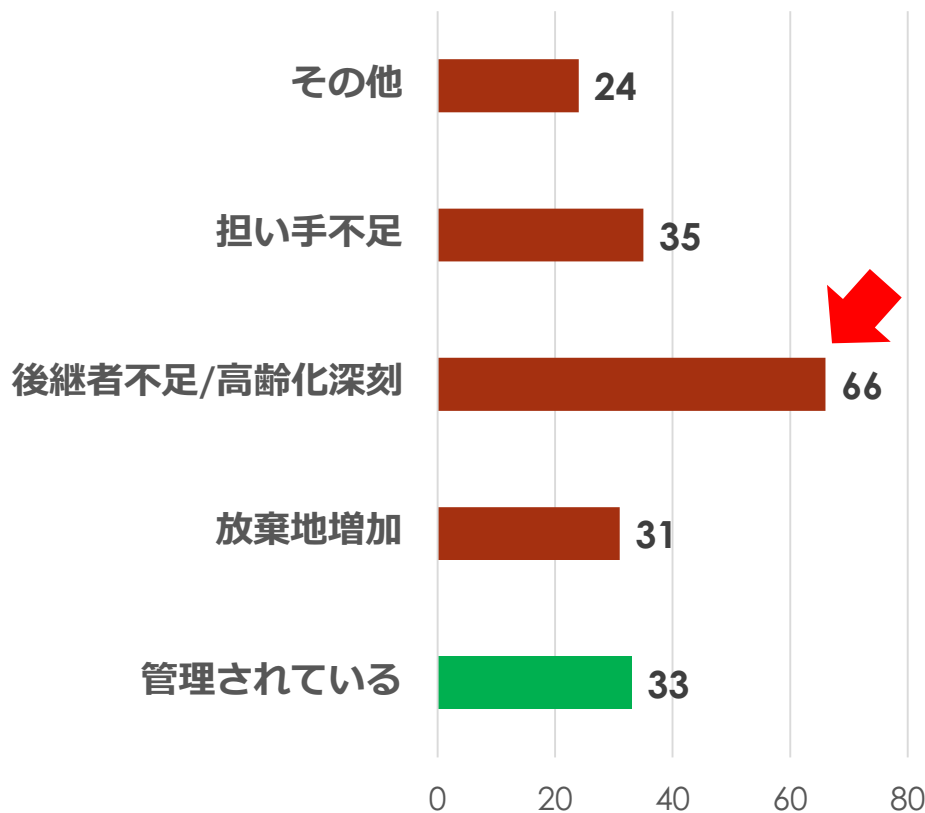
- ・子供が県外で会社員。
- ・家を継いでいるが公務員であり、農業後継者ではない。
- ・まだ子どもは小学生以下なので、農業をやるのかは未定。
- ・（いるが）アテにならん。
- ・後継者は居る、但し農業ではない。
- ・土地を管理する者は居る。
- ・農業経営の後継者ではなく、土地所有の後継者・相続人（は居る。）

13

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。
- 市外に在住で現状の農地がどのようなものか分からないとのコメントもあり。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：189

コメント：

- よくわからないが、管理確保されていると思われる。
- いのししやシカなどの**害獣が増えすぎ**、（今はハンターも居ない）農地や作物が荒らされている。最近特にひどい。根本的には個体数を減らすしかないが、何か策はないものだろうか。
- みかんを4本植えている小さな畑。
- 現在自家用の野菜を栽培している。
- 地球規模で気候変化が激しい、**災害増加中**。
- **地元から離れた県に住んでいます**ので、どうしたらよいのか分かりません。現在は大半は親戚、一部は南国市の方に耕作していただいています。将来はどうなっていくのか未定です。
- **農業の若い担い手が年々減少し、農地以外の活用に方向転換の必要を感じる。**
- 田は貸しているが、少しばかりの竹林と畑に困っています。隣の迷惑になっている為。
- 担い手がいつ撤退するかわからない状況。
- 付き合いがないのでわからない。
- **香南市外に住んでいるので、詳細を知らない。**
- わからない。
- 分かりません。
- この先の方向性が現状では見えません。
- あまりわからない。
- わからない。
- 不明。

アンケート集計 (8)

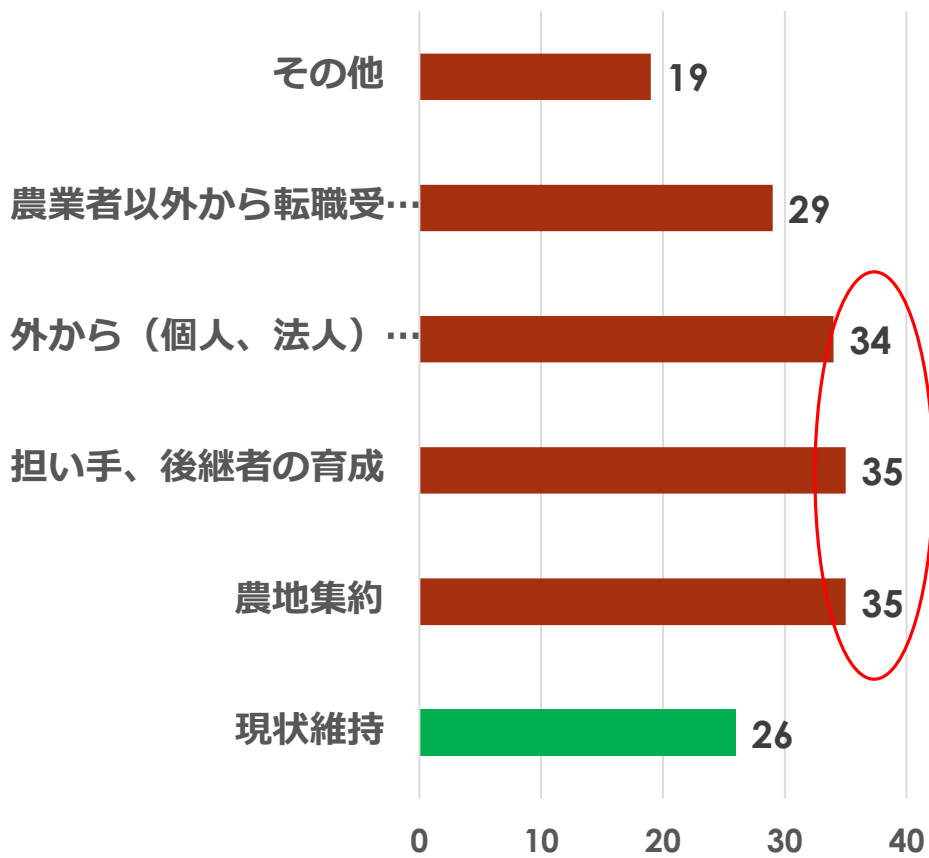
持続可能な農業のために

14

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 担い手の育成、農地集約、外から労働の確保を通じて持続できれば、との意見が多い。

持続可能な農業



設問への回答数：178

コメント：

- 業用水の確保、農道の整備など**農業の基礎事業**の実施。
- 耕作放棄地にならないように、農業継続だけに目を向けるのではなく、**他業種での経営策**を考える必要性が有りはしないかと思う。
- **地域の活性化、住民同士のコミュニケーションアップ、行政とのタイアップ**など、意識の向上を図りたい。自分の反省も含めて。
- 農業者でも一般人でも気軽に手伝える仕組みを考える。
- 外国からの食料品輸入を禁止する。
- 農業はすそ野の広い産業である。**米価を上げれば**地域コミュニティ、地域産業も維持できる。
- 農業従事者の優遇。政策の抜本改正、小中学校からの**学校での農業教育**が必要。工業・商業の偏重の是正。
- 父が作れなくなり、とりあえず今年**は田んぼをやってみようか**と思いますが、ムリだった場合、来年以降貸したりするときの**相談窓口が農林課**でよろしいですか。
- 分からない。/わからない。/分かりません
- 不明。
- 教えてください。

アンケート集計 (9)

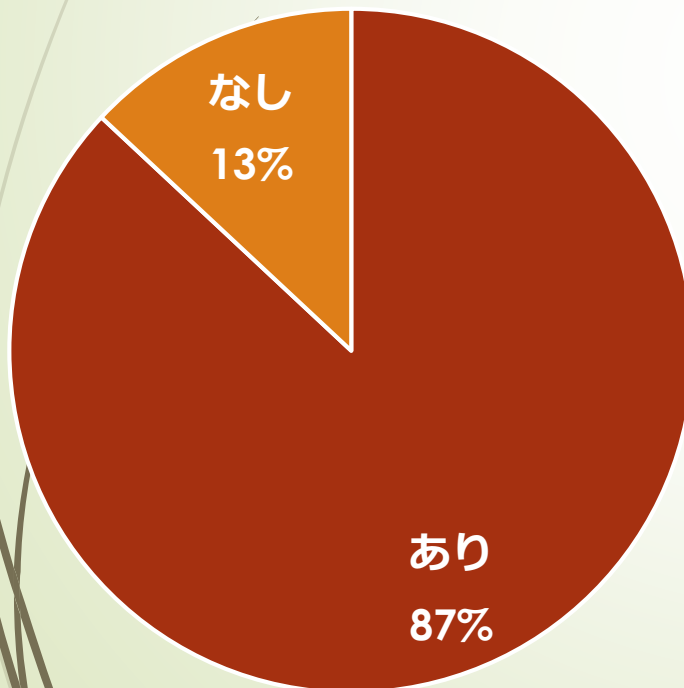
売りたい・貸したい農地候補

15

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況、あるいは後継者不在、遠方に所在する等である。
- 売却希望の背景には、農業を辞めたり、貸地として公租公課/管理経費がかかること、農地として耕作条件が良くないことが背景となっているケースがある。

売り貸し候補地



設問への回答数 : 46

コメント

(貸したい)

- 高齢化で維持管理する者が居ない。
- 貸さなければ放棄地になるから。
- 高齢化のため
- 管理する者が居ない。

(売り貸し)

- Q6でのチェックの項目を市がどのように進めようとしているのか知りたい。先祖伝来の土地所有がそのように郷里の発展に活かされるのか、同時に所有者の受容はどうなのか等々勘案の上、売るか貸すかの判断をしたい。
- 田んぼは〇〇さんが稲を作っています。私にはよくわからないので、早めになんとかしたいと思っています。私にはどうしたらいいかわかりません。お願いします。
- 後継者は居ない。税金を納めなければならない。子供に引き継がなくてはならないため、面倒である。
- 農業に手が回らない。
- 子供が県外の会社員のため
- 現在耕作をしている。

(売りたい)

・後継者が居ない為。

- ・高齢化の為維持管理ができない。
- ・高齢化で維持管理する者が居ない。
- ・高齢化で維持管理する者が居ない。
- ・後継者が居ない。
- ・すぐにでも売りたい：高齢化であと作るものが居ない。

・賃貸収入より、整備費、水利費が大幅に上回っている。

- ・食糧費、税金、田役費がかかり、供物（賃貸料）で賄えない。（賃貸料も）今年より減らされる。
- ・後継者が居ない、水利代が高く、管理が難しい。

・県外在住で現在農業をやっていない為。

- ・（高知市からは）遠距離であり、身内に農業をやっている者が居ない。
- ・高齢で維持管理が困難。さいたま市在住。
- ・将来、県外に転出するつもりである。売渡あっせん申込書、農地情報提供同意書を提出しております。

- ・買う人があれば売りたい。
- ・土地を生かして使ってほしい。
- ・維持管理が不安。
- ・売る話を進めている。ハウスあり。
- ・いずれ全て処分したいとは思っている。
- ・農業法人に経営委託。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景まとめ

17

農業者側の事情

- 老齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備

農地としての適性が低い。

稲作の採算

- 米づくりは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）がかかる。

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却